

令和5年度 事業報告書

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

I. 青少年活動

日本の将来を担い未来を築く青少年が、健康な身体を養い豊かな感性と高い徳性を磨き、有為な青年に成長することを目的に、基本理念である“愛と汗の精神”に基づいた自然体験・社会奉仕体験を中心とした青少年健全育成活動の充実を図り実施した。また、愛と汗の実践活動として、フィリピン・ゴミ山などの貧困の中で暮らす子どもたちへの支援活動や震災などの被災者に対する支援活動を継続して展開した。

1. 子ども自然体験活動

“愛と汗の精神”に基づいた子ども自然体験キャンプを全国的に開催し、大自然の中で障害児を含む異年齢の仲間とともに野営による共同生活をとおして、様々な課題や困難を乗り越え、自主性、協調性、感受性等を育てるなど、次代を担う青少年の心豊かな人格形成を図ることを目的に開催した。

(1) 夏期子ども自然体験キャンプ

〈別表-1〉

ア. 「子ども自然体験キャンプ」《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

期 間 8～9月 <2泊3日（道南、沖縄）、3泊4日（桧原湖畔、瀬戸内海、鹿児島）>

開 催 数 5会場（道南、桧原湖畔、瀬戸内海、鹿児島、沖縄）

スタッフ等 142名

参加者 239名（内、障害児12名）

イ. 連合会等組織共催「子ども自然体験キャンプ」

期 間 8月 <2泊3日（北部九州）、3泊4日（いばらき、友愛）>

開 催 数 3会場（いばらき、友愛、北部九州）

スタッフ等 75名

参加者 122名

ウ. 子ども自然体験キャンプ事前調査《子どもゆめ基金助成活動》

No.	キャンプ名	実施日	スタッフ
1	道南ふれあい	6月 5日(月)～ 7日(水)	志村和也、中野淳一
2	桧原湖畔	5月31日(水)～6月1日(木)	谷野渉、増田航介
3	鹿児島	6月28日(水)～29日(木)	志村和也
4	瀬戸内海	7月20日(木)～21日(金)	板倉和也、林春幸
5	いばらき	7月22日(土)	増田航介
6	沖 縄	8月 4日(金)～ 6日(日)	(板倉和也)

※5は一般、6は台風接近のため中止

エ. キャンプ主事・事務担当者

キャンプ名	主 事	事務担当者	キャンプ名	主 事	事務担当者
①道 南	志村和也	中野淳一	②桧原湖畔	谷野渉	増田航介
③瀬戸内海	板倉和也	林春幸	④鹿児島	志村和也	真下淳一
⑤沖 縄	板倉和也	保坂正志			

オ. 共催キャンプへの講師・スタッフ等派遣

キャンプ名	派遣講師	キャンプ名	派遣講師	キャンプ名	派遣講師
⑥いばらき	根岸秋吉	⑦友 愛	保坂正志	⑧北部九州	板倉和也

カ. 印刷物の作成《子どもゆめ基金助成活動》

①「子ども自然体験キャンプ」リーフレットの作成

部 数 23,000部
体 裁 A4版6頁、4色刷り

②「子ども自然体験キャンプ」報告書の作成

部 数 700部
体 裁 A4版、70頁

(2) 「子どもわくわく自然体験キャンプ(招待)」《子どもゆめ基金助成活動》

開催日 9月16日(土)～18日(月・祝) <2泊3日>
開催地 ばんだいふれあいぴあ
指導者 1名(三瓶利正)
スタッフ 2名(谷野渉、増田航介)
リーダー 21名(高校生以上の青年)
炊事員 2名(小松純子、志村久子)
参加者 42名(小中学生)

(3) 冬期子ども自然体験キャンプ

ア. 子ども自然体験スキーキャンプ

《第1回》

開催日 12月26日(火)～30日(土) <4泊5日>
開催地 福島県(ばんだいふれあいぴあ及び裏磐梯スキー場)
指導者 2名(高橋源一郎、鈴木幸：SAJスキー指導員)
スタッフ 4名(板倉和也、谷野渉、増田航介、林春幸)
炊事員 1名(佐藤由佳)
参加者数 60名 <リーダー19名、キャンパー41名>

※子ども自然体験スキーキャンプリーダー研修会

開催日 12月24日(日)～26日(火) <2泊3日>
スタッフ 2名(谷野渉、林春幸)
参加者数 8名

《第2回》

開催日 令和6年3月26日(火)～30日(土) <4泊5日>
開催地 福島県(ばんだいふれあいぴあ及びネコママウンテン)
指導者 2名(高橋源一郎、鈴木幸：SAJスキー指導員)
スタッフ 4名(板倉和也、谷野渉、増田航介、林春幸)
炊事員 1名(佐藤由佳)
参加者数 62名 <リーダー18名、キャンパー44名>

※子ども自然体験スキーキャンプリーダー研修会

開催日 令和6年3月24日(日)～26日(火) <2泊3日>
指導者 2名(高橋源一郎、鈴木幸：SAJスキー指導員)

スタッフ 2名（板倉和也、谷野渉）
参加者数 17名

イ. 報告書の作成

部数 200部
体裁 A4版、38頁、カラー

(4) 子ども週末体験活動

自然体験活動や社会奉仕体験活動を実践している高校生・大学生等の青年指導者が集い、専門家や実践者を講師に招き、さまざまな体験活動やその展開方法についての学習をするとともに、新たな視点に立って展開する週末体験活動を模索し実践活動を行った。

ア. WAKU×2ボランティアリーダー研修会

〈別表-2〉

開催数 14会場 <各1日～1泊2日間>
指導者等 16名
参加者 138名

イ. 子どもWAKU×2ひろば《子どもゆめ基金助成活動》

〈別表-3〉

開催数 16会場 <各1日～2泊3日間>
指導者等 181名（講師25名、リーダー156名）
参加者 372名

(5) 夏期少年少女合宿講習会他（伊勢青少年研修センター）

ア. 夏期少年少女合宿講習会（各地青年会議所等共催）会場：伊勢青少年研修センター

期 日	共催団体名・事業名	参加者数
7月24日(月)～26日(水)	一般財団法人日本教育再生機構大阪茨木支部 寺子屋伊勢合宿	32名
7月28日(金)～30日(日)	一般社団法人岸和田青年会議所 「第32回岸和田少年少女サマースクール」	75名
8月1日(火)～3日(木)	一般社団法人伊勢青年会議所 「第49回伊勢少年少女合宿講習会」	50名
8月7日(月)～10日(水)	「伊勢近江自然体験交流合宿」	中止
合 計	3回	157名

※伊勢近江自然体験交流合宿は台風接近のため主催者の判断により中止

イ. 関西わくわく交流合宿

開催日 8月7日(月)～10日(木)〈3泊4日〉
会 場 伊勢青少年研修センター
対 象 小学2年生～6年生

※台風接近のため中止

ウ. 房総自然体験交流合宿

開催日 10月7日(土)～9日(祝・月)〈2泊3日〉
会 場 コミュニティガーデン「リーフ&ルート」(館山市)
参加者 6名

2. 子どもボランティア推進活動

“愛と汗の精神”に根ざした様々なボランティア活動を実践することにより、人のため、社会のために行動することの素晴らしさや真の喜びを体感し、お互いに理解し合い、分かち合い、豊かな感性を磨き、思いやる心や心豊かな人格形成に寄与する活動を行った。

(1) 幸せの種まきキャンペーン《文部科学省後援》

地域・学校（生徒会・ボランティア部）、PTA等と連携を図り、これまで実践しているフィリピン等での支援活動を紹介した。ストリートチルドレンやスカベンジャーなど「貧困と共に生きる子どもたち」の現状を理解することにより、ボランティア精神を涵養し、他者への思いやり、命の大切さ、親や周りの人への感謝など、青少年の豊かな心を育むことを目的に開催した。

ア. 幸せの種まきキャンペーン「出前講座・課外授業」

〈別表-4〉

開催数 23会場
 派遣講師 46名（山口千恵子、谷野渉、増田航介）
 体験発表 1名（平松倫太郎）
 参加者 2,749名

イ. パンフレットの作成・配布

部数 5,000部
 体裁 A4版、8頁、4色刷
 配布先 3,500ヶ所

(2) 青年ボランティアゼミナール

期間 6月～令和6年3月 <各回とも19:30～21:00>
 開催数 5回
 会場 SYD会議室及びオンライン開催（Zoom）
 講師 各1～7名（国内外のボランティア経験者等に委嘱）
 参加者 117名

回数 (通算)	実施日	テーマ	講師	出席者数
第1回 (119)	6月30日(金)	「誰からも好かれる話し方ポイントレ ～今日からできる！口下手でも 第一印象で心をつかむ方法～」	毛利 大介 (株式会社VOICE CREW 代表取締役)	20名
第2回 (120)	8月11日(金・祝)	「SYDブラジルの活動について」	小笠原マイザ 藤沢正一	31名
第3回 (121)	9月29日(金)	「青年ボランティア・アクション inフィリピン報告会」	鈴木類 他6名	26名
第4回 (122)	12月15日(金)	Z世代の僕が選ぶ道 ～混沌とした世界の歩き方～	平松倫太郎 (慶応義塾大学2年生)	22名
第5回 (123)	3月19日(火)	社会に必要な仕組みを創るために ～ジャパンハートの活動と 能登半島地震緊急支援～	高橋 茉莉子 (特定非営利活動法人 ジャパンハート)	18名
※ オンラインと対面で開催			12名	117名

(3) 令和6年能登半島地震被災者支援ボランティア

ア. 事前調査

期 日 令和6年2月5日(月)～7日(水) <2泊3日>

派遣先 石川県輪島市

スタッフ 2名(谷野渉、増田航介)

※事前調査と合わせて幸せの種まき献金からの支援物資(衛生用品、文房具等)を届けた。

イ. 炊き出しボランティア

期 日 令和6年2月13日(火)～15日(木) <2泊3日>

会 場 地域支援ウミュードゥソラ(石川県輪島市)

スタッフ 3名(板倉和也、谷野渉、増田航介)

参加者 2名

3. SYD指導者の養成

自然体験や社会奉仕体験などのさまざまな実践活動を行い、自ら活動の楽しみや喜びを体得するとともに、子どもたちを安全に導きながら体験活動を積極的に推進するための知識や技能を修得し、“愛と汗の精神”を日常的に実践するSYD指導者の養成に努めた。

(1) 全国青年アカデミーキャンプ in 福島 《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

全国から集った中高大学生等の青少年が異年齢の仲間とともに大自然の中でキャンプ(共同生活)を実施。自然の素晴らしさや厳しさを感じながら、自然体験活動を積極的に推進するための知識や技能を習得するとともに、国連が定めるSDGs(持続可能な開発目標)に添った学びの場やテーマについての協議を行う中で、他者を思いやる心や積極的に汗を流せる自主性、コミュニケーション能力などの次代を担う青少年の心豊かな人格形成を図った。

※全国青年アカデミーキャンプ in 福島 事前調査

期 日 7月10日(月)～11日(火) <1泊2日>

派遣者 2名(板倉和也、谷野渉)

会 場 福島県北塩原村他

《第1回》

期 日 7月26日(水)～30日(日) <4泊5日>

会 場 ばんだいふれあいぴあ

講 師 4名(原寛太:フリーランス国際協力師、
高橋源一郎、大田原謙司、明間敏晴:福島県山岳遭難救助隊員)

スタッフ 5名(岩佐加寿子、山口千恵子、板倉和也、谷野渉、増田航介)

参加者 12名(全国の中学生及び高校生等)

《第2回》

期 日 令和6年3月31日(日)～4月4日(木) <4泊5日>

会 場 ばんだいふれあいぴあ

講 師 2名(毛利大介:ヴォイストレーナー、株式会社VoiceCrew代表取締役
震災遺構中浜小学校語り部ガイド2名)

スタッフ 5名(岩佐加寿子、山口千恵子、板倉和也、谷野渉、増田航介)

参加者 22名(全国の中学生及び高校生等)

※指導者養成事業報告書の作成

部 数 400部
体 裁 A4版、56頁

(2) ボランティア・アクション

No.	開催地・協力	実施日	会場名	講師スタッフ	参加者
1	修養団美幌会 (美幌)	6月10日(土) ～ 11日(日)	グリーンビレッジ美幌 美幌神社	岡村精二 黒澤頭 板倉和也	15名
2	OYG (沖縄)	8月 5日(土) ～ 6日(日)	国立沖縄青少年交流の家	(安仁屋聡) (板倉和也)	中止
3	山都愛汗の会 (福島)	2月 3日(土) ～4日(日)	福島県喜多方市山都町	(谷野渉) (増田航介)	中止
4	SYD青年部 (瀬戸内海)	3月 9日(土) ～10日(日)	土庄町中央図書館	諸石正宣 板倉和也	27名
※2・3は中止			合 計 2回	5名	42名

4. 青年組織育成活動

“愛と汗”の精神に基づいた自然体験・社会奉仕体験活動を年間を通して実践する青年部組織の育成・充実のため本団講師の派遣や活動資金の助成を行った。

(1) 青少年活動(キャンプ)担当者会議

期 日 4月23日(日) <3時間>
会 場 オンライン開催 (Zoomにて)
スタッフ 7名 (山口千恵子、市島寿里、板倉和也、谷野渉、増田航介、保坂正志、志村和也)
参 加 者 12名(各地キャンプ担当者)

5. 関係機関・団体との協力

〈別表-5〉

青少年の健全育成ならびに社会教育に寄与する活動の充実を図り、青少年教育及び社会教育の関係機関・諸団体との協力・連携を図ることを目的に、会議出席などの活動を行った。

6. ばんだいふれあいびあ

(1) 「夏期事業片づけ」

期 日 11月3日(金・祝)～5日(日) <2泊3日>
スタッフ 3名 (板倉和也、谷野渉、増田航介)
参 加 者 3名 (関東圏・福島県の高校生、大学生等の青年)

Ⅱ. 国際交流活動

1. 貧困と共に生きる子どもたちの支援活動 (サポーターシッププログラム)

フィリピンケソン市パヤタスのゴミ山周辺で暮らす子どもたち(スカベンジャー)やマニラ市の旧スモーキーマウンテンの貧困地域等を訪問し、ボランティア活動・交流活動・支援活動の実践をとおして友好と相互理解を促進した。このことにより、自ら生きる意味を模索し、国際的視野を広げ、国際協力の精神を涵養し、実践力やリーダー性を培うなど、学校や地域で活動する青少年指導者を育成することを目的に開催した。

(1) 青年ボランティア・アクションinフィリピン (第20回)

《文部科学省後援・交流20回記念》

期 日 8月22日(火)～28日(月) <6泊7日>
訪 問 地 フィリピン(マニラ市、ケソン市他)
指 導 者 3名(岩佐加寿子、山口千恵子、増田航介)
参 加 者 21名(全国の満15歳以上の中学生、高校生、大学生等の青年)

(2) 「青年ボランティア・アクションinフィリピン」支援バックの作成作業

期 日 8月12日(土)<1日間>
スタッフ 6名(真下淳一、山口千恵子、市島寿里、谷野渉、増田航介、林春幸)
参加者 22名

(3) 「青年ボランティア・アクションinフィリピン」報告書の作成・配布

部 数 300部
体 裁 A4版

2. ブラジルとの指導者交流事業

(1) ブラジル指導者の招聘

ブラジル修養団の推薦する指導者及び青年リーダーを招聘し、伊勢講習会や子ども自然体験キャンプなどの参加・研修することにより、ブラジルで開催される少年少女講習会等で活躍する青少年指導者の養成を図った。

ア. ブラジル青年リーダーの招聘

期 日 7月20日(木)～8月15日(火) <27日間>
招 聘 者 小笠原マイザ(26歳・社会人)
藤沢正一(26歳・大学生)
主な日程 本部研修、伊勢研修、ばんだいふれあいぴあ研修、都内視察

イ. ブラジル修養団講師の招聘

期 日 令和6年2月上旬～下旬 <21日間>
※該当者がなく中止

(2) ブラジルへの指導者派遣

期 日 令和6年1月3日(水)～2月7日(水) <35日間>
派 遣 先 ブラジル(サンパウロ、モジ、スザノ、マリンガ他)
派 遣 者 板倉和也(青年部・講師)
主な活動 少年少女講習会、リーダー研修会、講演会等

期 日	講習・講演会名	参加者	スタッフ リーダー	計
1/5～7	モジ・ダス・クルーゼス少年少女講習会	140	88	228
1/12～14	スザノ少年少女講習会	100	88	188
1/16～18	アサイ少年少女講習会	92	77	169
1/19～21	マウア・ダ・セーハ少年少女講習会	51	51	102
(中止)	ロンドリーナ リーダー養成研修会	中止		
1/26～28	マリンガ修養林間学校	82	89	171

2/3～4	リーダー研修会	39	1	40
合計		504	394	898

公益2

Ⅲ. 講習会・講演活動

1. 伊勢講習会 会場：伊勢青少年研修センター

(1) みがく講習会 (定例講習会)

〈別表-6〉

開催数 5回 <各3泊4日>

参加者 119名 (平均23名、定員各60名)

対象 企業の新入社員・中堅社員・幹部社員他

(2) みがく特別講習会

〈別表-7〉

開催数 4回 <各1泊2日>

参加者 372名 (平均93名、定員各100名)

(3) 特別講習会

ア. 神嘗祭講習会

期日 10月15日(日)～17日(火) <2泊3日>

参加者 84名

対象 一般社会人

(4) 受託講習会

〈別表-8〉

開催数 14回 (前年度13回)

参加者 662名 (前年度745名)

(5) 貸会場

〈別表-9〉

開催数 16回 (前年度11回)

参加者 517名 (前年度228名)

(6) 講師派遣 (講演・講習活動)

〈別表-10〉

開催数 67回

参加者 4,963名

2. 関東・東北地区等講習会

(1) 新入社員セミナー

期日 4月中旬

会場 福島県下

※新型コロナウイルスの影響で中止 (期日・会場確定前)

(2) リフレッシュセミナー

期日 令和6年2月20日(火)～22日(木) <2泊3日>

会場 LAKE SIDE HOTEL みなとや(福島県猪苗代町)

講師 5名 (鈴木義信、山崎一紀、根岸秋吉、志村和也、林春幸)

参加者 10名 (男性10名)

3. 受託セミナー

〈別表-11〉

(1) パート社員セミナー

ア. 1日コース
開催数 4回
参加者 343名

(2) 新入社員セミナー

ア. 1日コース
開催数 2回
参加者 152名

イ. 2日(1泊2日)コース
開催数 2回
参加者 61名

ウ. 2泊3日コース
開催数 2回
参加者 37名

4. 企業・組織訪問

講演会・講習会の参加者募集や実施及び団運動の拡大を目的として企業・組織を訪問した。

期 日	訪問地域	訪問社数	訪問者
12月 5日(火) ～6日(水)	福島県下(郡山市・本宮市 他)	9社	志村

【集計表】 連合会・クラブ、企業・団体等「主催講習会・講演会」〈別表-11〉

(1) 講習会

開催数 31回
参加者 1,499名

(2) 講演会

開催数 54回
参加者 4,876名

IV. 家庭教育活動

1. 家庭《共育》ひろば

親子や家族のあり方、高齢社会での世代間交流など、身近な課題に取り組むとともに、楽しい子育て、幸せな家庭、生き生きとした地域社会の実現に向けた講座・ワークショップを企画した。

Zoomを活用したオンライン講座のほか、今年度は会場参加型のセミナーを実施し、家庭教育活動の拡大を図った。

(1) 「家庭《共育》ひろば」(会場参加型)

開催日	開催地	会場	実施団体	参加者数	講師
3月 9日(土)	北海道 北見市	端野町公民館	S Y D 修養団端野会	58名	宝井琴鶴 根岸秋吉

(2) 「Zoomでオンライン家庭《共育》講演会」

開催日	講師	演題	参加者数
7月23日(日)	山上 亮 (整体ボディワーカー)	「整体的子育て ～家庭でできる子どもの手当～」	33名

V. 会員・組織活動

1. 「幸せの種まき運動」の推進

会員及び会員組織と連携を図るとともに、諸団体にも呼びかけ、「愛と汗」を基本に下記事業を展開し、心ひとつにして「幸せの種まき運動」の推進を図った。

これまで継続実施してきたオンラインでの講演会に加え、会場参加型のセミナーを復活開催することができた。

(1) “愛と汗” 幸せの種まきセミナー

開催日	開催地	会場	実施団体	参加者数	講師
6月25日(日)	北海道 江差町	小黒部 寿の家	小黒部町内会	30名	宝井琴鶴 根岸秋吉
6月25日(日)	北海道 乙部町	乙部町 公民館	修養団本部	25名	宝井琴鶴 根岸秋吉
合計	2回			55名	

(2) Zoomでオンライン “愛と汗” 幸せの種まき講演会

開催日	講師	演題	参加者数
5月19日(金)	板倉和也 (講師補・青年部)	「大道をゆく」	27名
7月1日(土)	牧野理香 (キャリアカウンセラー)	「いつも命に向き合って ～祖父が照らしてくれた 修養団への道～」	22名
2月17日(土)	増子則博 (修養団愛汗郡山理事)	「修養団での学びと 会社経営」	15名
合計	3回		64名

(3) 第15回「チャリティー演芸会」～思いっきり笑おう!の巻～

－ストリートチルドレン支援・トルコ・シリア大地震被災者支援－

昨年以上のご来場をいただき、和やかな雰囲気の中、落語・講談・三味線漫談に大笑いのひとときとなった。会場は足を運ばない方々に「心の参加者」として広く寄附のご協力を呼びかけたところ、18件・72,000円の献金が寄せられた。

期 日 6月23日(金) 18時30分～20時30分

会 場 SYDホール

出演者 立川志らら、立川らく次、宝井琴鶴、藤本芝裕

来場者 72名

係 員 12名(職員・ボランティア)

※収益金114,286円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

(4) 「幸せの種まき祭り」ーストリートチルドレン・災害被災者支援ー

「チャリティーバザー」のみ実施とし、全国のSYD連合会・クラブをはじめ、近隣住民、趣旨にご賛同いただいた企業から提供された特産品や衣類のほか、北海道、埼玉県、岐阜県の会員から届いた野菜を販売した。

期 日 11月11日(土) 12時～14時

会 場 SYDビル1階広場、SYDホール

参加者 約200名(近隣住民および会員など)

※収益金447,882円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

(5) 第7回「東京ベルズ」ハッピーヴォイスチャリティーコンサート

ーストリートチルドレン支援ー

NPO法人「東京ベルズ」のメンバーによるチャリティーコンサートがおこなわれ、当日は昨年を大幅に超える多くの方が来場された。

東京ベルズによるアカペラコーラス中心のプログラムに加え、「さいたまシティジュニアコーラス」のメンバーが賛助出演した。また、特別企画「フィリピン・パヤタスのゴミ捨て場で生きる子どもたちとSYD」と題し、SYD職員および青年リーダーが映像を交えて講演した。

会場への参加ができない方に「心の参加者」として広く寄付のご協力を呼びかけたところ、25件・213,000円の献金が寄せられた。

後日、ご寄付をいただいた方に対して、当日の動画を配信した。

期 日 12月2日(土) 14時～16時

会 場 SYDホール

来場者 116名

出演者 高牧康、御幸りか、花岡るみ、古谷万理子、白瀬恵、松本久志、古葉映、ラジアン円

さいたまシティジュニアコーラス

※収益金712,409円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

2. 会員組織活動への支援など

(1) 第12回「全国修養団運動推進会議」の開催

日頃より修養団運動を推進している主なクラブ・連合会の代表者や今後の活動が期待できる方を対象として、対面で開催。「第18回SYDボランティア奨励賞贈呈式」、「令和5年度修養団功労者表彰贈呈式」を推進会議の一環として実施した。

期 日 令和6年2月10日(土)～11日(日・祝)

会 場 SYDホール

出席者 37名

役職員 23名

(2) 講師・役職員の派遣

6月9日	修養団愛汗喜多方「令和5年度理事会・総会」 19名(福島県・喜多方市厚生会館)	【真下、保坂】
6月11日	SYD修養団端野会「令和5年度総会」 14名(北海道北見市)	【志村】
6月18日	修養団伊勢いなほの会「いなほの学校2年5組」 30名(三重県伊勢市・修養団伊勢青少年研修センター)	【保坂】
6月24日	修養団愛汗郡山「第18回定例総会」	

	7名(福島県郡山市・ベルヴィ郡山館)	【真下、保坂】
7月 4日	修養団福島県連合会「令和5年度理事会・通常総会」 25名(福島県郡山市・㈱ヨークベニマル本社)	
		【山崎、根岸、真下】
9月 3日	ブラジルへの講師派遣 ～21日(サンパウロ州、パラナ州)	【武田】
9月16日	修養団岐阜県連合会青年部ともしび会 ～17日「友愛キャンプ文集作成・振り返り(反省会)」 22名(岐阜県大垣市・大村公民館)	【真下】
12月23日	修養団端野会記念誌発刊記念祝賀会	【山崎】
2月23日	SYDボランティア友の会 ～25日「第36回沖縄戦遺骨収容ボランティア」 21名(沖縄県糸満市・山雨の塔、南北の塔)	【真下】

(3) 活動助成金の支出

クラブ・連合会の活動の拡充と活性化を図ることを目的とし、修養団のクラブ・連合会がおこなう活動に助成金3万円を交付した。

- ①修養団伊勢いなほの会「いなほの学校2年5組」実施
(6月18日・伊勢青少年研修センター/参加者30名)
- ②SYDいばらき「青年リーダー育成プログラム」実施
(11月18日～19日・ぼんだいふれあいぴあ/参加者10名)
- ③SYD修養団端野会「創立66周年記念誌」発刊
(11月30日発行)

3. 会員状況と会員組織

諸事業において、資料に見本誌を入れ配布した。また、「日々の力」や図書を発送する際に見本誌を同封するなど、会員拡大を図るとともに、クラブ・連合会を通じて加入促進をお願いした。合わせて、夏期子ども自然体験キャンプの参加者およびスタッフ・リーダー等にも加入を勧めた。

本団主催の講習会(みがく講習会、リフレッシュセミナー)受講者には、事後学習の一助にと1年間にわたり「向上」誌を送付。発送終了の時期には講習会受講時の感想文とともに、継続購読を勧めた。

(1) 会員の現状

〈別表-13〉

会員種別	当年度(R6. 3. 31現在)	前年度(R5. 3. 31現在)	増減
ふれあい会員	359	14	345
愛会員	358	238	120
向上会員	1,128	1,033	95
永生会員	10,728	10,728	0
合計	12,573	12,013	560

(2) 後援会会員の現状

会員種別	当年度(R6. 3. 31現在)	前年度(R5. 3. 31現在)	増減
法人会員	98	96	2
個人会員	113	130	△17
合計	211	226	△15

VI. 幸せの種まき献金活動

1. 募金活動

会員組織、会員及び「幸せの種まきキャンペーン《出前講座》」実施校などを通じて募金活動をおこなった。本年度から、フィリピンのゴミ山周辺の貧困地域に暮らす子どもたちへの、芸術表現を通じた教育に対する支援（TIUシアター芸術教育支援）を新たに開始。

また、1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」の被災者支援のほか、奥能登の新中学生への制服購入代金の支援として100人分を目標に募金活動を実施した。（単位：円）

		5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	
月計金額		1,251,333	197,471	359,196	369,703	133,891	337,482	
《一般献金》		539,333	123,471	214,847	255,703	91,891	35,482	
《指定献金》		712,000	74,000	144,349	114,000	42,000	302,000	
指定献金内訳	トルコ・シリア大地震被災者支援	680,000	0	84,349	0	0	0	
	能登半島地震被災者支援	0	0	0	0	0	0	
	奥能登新中学生制服支援	0	0	0	0	0	0	
	フィリピン	子ども学資支援	18,000	36,000	36,000	72,000	18,000	36,000
		大学生学資支援	0	0	0	18,000	0	252,000
		学校支援	14,000	38,000	24,000	24,000	24,000	14,000
		TIUシアター芸術教育支援	0	0	0	0	0	0

		10月	11月	12月	6年1月	2月	3月	
月計金額		125,172	1,800,230	595,367	1,585,113	382,705	10,874,197	
《一般献金》		93,172	573,007	1,005,362	65,989	48,848	38,286	
《指定献金》		32,000	1,227,230	302,414	1,519,124	333,857	10,835,911	
指定献金内訳	トルコ・シリア大地震被災者支援	0	0	0	0	0	0	
	能登半島地震被災者支援	0	0	0	1,178,124	301,857	42,111	
	奥能登新中学生制服支援	0	0	0			10,688,159	
	フィリピン	子ども学資支援	18,000	90,000	162,000	108,000	18,000	18,000
		大学生学資支援	0	98,230	18,000	144,000	0	0
		学校支援	14,000	29,000	59,274	84,000	14,000	24,000
		TIUシアター芸術教育支援	0	1,010,000	63,140	5,000	0	63,641

		今年度合計		前年度合計		
年間合計金額		18,724,276	(597件)	5,452,031	(290件)	
《一般献金》		3,085,391	(133件)			
《指定献金》		15,638,885	(464件)			
指定献金内訳	トルコ・シリア大地震被災者支援	764,349	(6件)			
	能登半島地震被災者支援	1,522,092	(92件)			
	奥能登新中学生制服支援	10,688,159	(288件)			
	フィリピン	子ども学資支援	630,000	(30件)		
		大学生学資支援	530,230	(10件)		
		学校支援	362,274	(29件)		
		TIUシアター芸術教育支援	1,141,781	(9件)		

※心の参加者（一般献金）…チャリティー演芸会 72,000円（18件）

〃 …東京ベルズコンサート 213,000円（25件）

2. 支援活動

海外のストリートチルドレン支援として、フィリピンの子ども35名と大学生5名の学資支援及び子どもたちが学ぶ学校への支援をしたほか、パンガラップラーニングスクールの施設修繕・整備に対する支援、国内外の災害に対する支援を実施した。

(※=全て指定献金/ **=一部指定献金)

〈国内災害被災者支援〉

・石川県	令和6年能登半島地震に伴う物資支援 (輪島市へ衛生用品、文具等)	155,321 円※
・石川県	令和6年能登半島地震に伴う制服購入代金支援 (奥能登地域の新中学生・98名) ※令和6年4/1には107名の支払い完了	8,217,543 円※
・石川県	令和6年能登半島地震被災者支援炊き出しボランティア(食材費等)	73,683 円※

〈ストリートチルドレン支援〉

・フィリピン	ストリートチルドレン(遠足招待等)	1,100,000 円
・フィリピン	子ども(幼稚園~高校生)学資支援 (スカベンジャー・35名)	630,000 円※
・フィリピン	大学生学資支援(スカベンジャー・5名)	900,000 円**
・フィリピン	「パンガラップ・ラーニング・スクール」 (学校運営支援・12万円×12ヵ月)	1,440,000 円**
・フィリピン	スカベンジャーの子どもたちへのクリスマスプレゼント (チョコレート)	17,280 円**
・フィリピン	「マザー・テレサの家」(おむつカバー)	37,506 円
・フィリピン	「パンガラップ・ラーニング・スクール」修繕支援 (スモーカーマウンテン)	1,000,000 円
・フィリピン	「TIUシアター」芸術教育支援 (10万円×12ヵ月)	1,200,000 円**

〈海外災害被災者支援〉

・トルコ	トルコ・シリア大地震に対する被災者支援 (2023年2月6日発生)	1,700,000 円**
・アメリカ	ハワイ・マウイ島山火事に対する被災者支援 (2023年8月8日発生)	300,000 円

合計 16,771,333 円

前年度合計 5,892,000 円

3. 幸せの種まき献金委員会

(1) 幸せの種まき献金委員会の開催

以下のように定期的開催し、活動の充実・推進について協議した。

令和5年	4月17日、5月11日、6月13日、7月7日、9月5日 10月6日、11月8日、12月4日
令和6年	1月5日、2月19日、2月22日、3月13日

(2) 報告書の作成・配布

令和5年度活動報告書(1,000部)を発行し、クラブ・連合会、募金して下さった方々に送付した。

公益3

VII. 出版・広報活動

1. 機関誌「向上」「愛」の発行

(1) 「向上」

号	発行部数	随想テーマ
4月号	2,400	出会いの時
5月号	2,000	私の原点
6月号	2,100	日常をいつくしむ
7月号	1,900	楽しい夏!
8月号	2,200	元気のもと
9月号	1,900	安心できる場所
10月号	2,400	心に響いた言葉
11月号	2,000	自信が生まれた時
12月号	1,900	家族との時間
1月号	2,500	大切なもの
2月号	2,300	感謝を伝える
3月号	2,100	視野を広げる
合計	25,700部	(前年度24,800部)

(2) 「愛」

号	発行部数	備考
4月号	900	
5月号	900	
6月号	1,000	
7月号	800	ふれあい特集号
8月号	800	
9月号	800	
10月号	1,000	
11月号	1,400	ふれあい特集号
12月号	1,000	
1月号	1,100	
2月号	1,300	
3月号	1,400	ふれあい特集号
合計	12,400部	(前年度11,700部)

2. 令和6年版「日々の力」の制作・販売

(1) 制作

- 題名 「よろこび満天」
作者 〈絵と文字〉 福田玉庭（書作家、書道教室「書の庭」主宰）
内容 明るく元気な職場づくり、心温まる家庭づくりのために心がけ、実行したいことを31日分の言葉にまとめ、文字に絵を添えて制作した。
体裁 日めくり式短冊形・33枚、カラー刷り
印刷部数 13,000部(宣伝用含む)
第1回納品－8月23日、第2回納品－9月4日

(2) 販売

ダイレクトメールや「向上」誌等で会員や「日々の力」愛好者への普及に努めるとともに、会社・団体の年末年始贈答品としての利用を呼びかけた。

区分	件数	部数
SYDオリジナル	92	2,770
無地	34	309
注文名入れ印刷	37	6,600
合計	163件	9,679部
前年度合計	173件	10,148部

※ 8月28日～30日

修養団新潟県連合会、修養団上越の協力を得て販売促進のため上越地区5社、中越地区3社を訪問【保坂】

3. 教育図書の普及、教材の販売

『蓮沼門三の言葉110』、『人生のことは365日』、『蓮沼門三物語』などの図書、研修教材の『人生ガイドー研心』などを普及・販売した。

4. 「SYDかわらばん〈最新活動情報〉」の発行・送付

SYD事業や会員組織活動の最新情報を届けることを目的に、毎月20日頃(8月を除く)に各800～900部(2頁～4頁)を発行し(NO.173～183)、クラブ・連合会・評議員等へ送付するとともに、事業参加者等に手渡し配布した。

また、その全記事をSYDホームページ「webかわらばん」で紹介した。

5. 広報活動

(1) ホームページの充実

SYD事業の予定や報告、参加者募集の呼びかけ、さらにSYDの理解を深めてもらうための各種情報を発信した。

公益4・収益1

VIII. 施設運営事業

1. 伊勢青少年研修センター

〈別表-14〉

(1) 利用状況

- ア. 主催講習会(クリスマス会を含む)
回数 12回(前年度14回)
利用者数 661名(前年度634名)

イ. 受託講習会（夏期少年少女合宿講習会を含む）

回数 17回（前年度16回）

利用者数 819名（前年度789名）

ウ. 貸会場

回数 16回（前年度14回）

利用者数 517名（前年度441名）

※ア+イ+ウ=45回、1,997名（前年度44回、1,864名）

2. ばんだいふれあいびあ

（1）利用状況

〈別表-15〉

利用回数 25回（前年度19回）

利用者数 746名（前年度353名）

延べ利用者数 2,317名（前年度1,102名）

（2）施設修繕等

- ・かっこう荘・うぐいす庵トイレ入替工事・給湯管保温工事等（5月）
- ・ふれあい荘浴室内タイル貼替工事（5月）
- ・エンジンブロワー購入（7月）

（3）挨拶回り等

①挨拶回り：6月29日（木）～30日（金）【根岸】

②桧原湖畔子ども自然体験キャンプ視察：8月9日（水）～10日（木）【御手洗、根岸】

③新年挨拶回り：令和6年1月16日（火）～17日（水）【真下】

3. 修養団SYDビル

（1）SYDホールおよび会議室の貸出状況

ア. SYDホール

回数 106回（前年度103回）

利用者数 9,450名（前年度9,990名）

イ. SYD会議室（16階）

回数 10回（前年度21回）

利用者数 200名（前年度400名）

（2）施設の整備等

- ・ホール操作盤タッチパネル更新工事（11月）
- ・ホール多機能トイレ自動扉修繕工事（令和6年2月）

4. 関西会館

- ・テナント（1階、2階部分）の適正管理をおこなった。

IX. 関係機関・団体との協力活動

- ・ 4月14日 社会教育団体振興協議会幹事会出席【御手洗、真下】
- ・ 7月26日 体験の風をおこそう運動推進委員会出席【御手洗】
- ・ 11月1日 田澤義鋪記念会総会出席【真下】
- ・ 1月19日 国立沖縄青少年交流の家 開所51周年記念式出席【根岸】

X. 表彰

1. 第18回SYDボランティア奨励賞

(1) 募集活動

募集パンフレット18,000部を作成し、《出前講座》開催校、キャンプ開催地県の小学校、全国の中・高・大学へ送付すると共に、関連団体、全国の県・市教育委員会等へ広報依頼をしたところ、全国から合計78件の応募があった。

(2) 選考委員会の開催 ※WEB会議

会場出席、リモート出席を含め7名の委員により選考が行われ、欠席の委員には書面選考をお願いし、各賞の選考決定を行った。

開催日 12月14日(木) 11時～12時30分

会場 SYD会議室

出席者 委員7名、内リモート出席委員2名

事務局3名(真下淳一、岩佐加寿子、山口千恵子)

文部科学大臣賞 1点

富田林市立第一中学校 人権サークル (大阪府)

優秀賞 3点

【小・中学生の部】猪苗代町立猪苗代中学校 総合文化部 (福島県)

【高校生の部】奈良県立商業高校 部局たまつえ (奈良県)

【大学・一般の部】^{さんてんいちいち} ^{むげんだい} (3.11) ∞ 実行委員会 (神奈川県)

特別賞 2点

ポテトプロジェクト (兵庫県)

上越高等学校 サッカー部 (新潟県)

(3) 贈呈式

期 日 令和6年2月10日(土) 13時30分～15時

出席者 64名(受賞関係者25名、来賓2名、全国修養団運動推進会議出席者37名)

内 容 ①主催者挨拶：御手洗理事長

②祝辞：文部科学省総合教育政策局地域学習推進課課長 高木秀人

③選考経過報告：長沼豊

④受賞者挨拶・活動報告：6団体(贈呈式欠席のポテトプロジェクトは動画にて活動報告)

2. 令和5年度功労者表彰

〈敬称略〉

【名誉団員】 4名

西川栄松（北海道）、大高善興（福島県）、金澤陽子（新潟県）
田渡英男（岐阜県）

【蓮沼賞】 3名（内追贈1名）

江藤晃靖（福島県）、古賀克彦（福岡県）、【追贈】平栗裕治（福島県）

【表彰】 個人：2名

【感謝状】 個人：5名

XI. 諸会議の開催等

1. 理事会

（1）第1回理事会 ※WEB会議

期 日 5月19日（金）

出席者 理事：13名（内web出席3名）、監事：2名（内web出席2名）
山崎主幹

議 題 ア. 令和4年度事業報告について
イ. 令和4年度収支決算について
ウ. 常務理事の推薦について
エ. 令和5年度上期慰労手当の支給について
オ. その他
・内閣府への事業報告等の提出について
・定時評議員会の開催について

（2）第2回理事会 ※WEB会議

期 日 12月19日（火）

出席者 理事：11名（内web出席：3名）、監事：2名（内web出席：1名）
山崎主幹

議 題 ア. 令和6年度基本方針・事業計画大綱について
イ. 令和6年度予算大綱について
ウ. 令和5年度功労者表彰について
エ. その他
・次回理事会の開催日について

（3）第3回理事会 ※WEB会議

期 日 令和6年3月21日（木）

出席者 理事：12名（内web出席：4名）、監事：1名
山崎主幹

議 題 ア. 令和6年度事業計画について
イ. 令和6年度収支予算について
ウ. 定時評議員会の招集について
エ. その他
・次回の理事会の開催日について
・理事の改選について

※事業経過報告書と収支月報の送付

10月31日付けで4～8月までの「事業経過報告書」と「収支月報」を理事・監事・評議員に送付した。

2. 第13回評議員会 ※WEB会議

期 日 6月10日(土)

出席評議員 11名(内web出席4名)

議 題 ア. 令和4年度事業報告並びに収支決算について
イ. 令和5年度事業計画並びに収支予算について
ウ. 理事の選任について(交代)
エ. 令和6年度事業計画への要望について
オ. その他
・根岸事務局長の事務局長退任について
・常務理事の選定について
・評議員の任期満了について

3. 評議員選定委員会設置並びに選定委員の選任及び次期評議員の推薦について ※書面

議 決 日 6月21日(水)

議 決 者 理事:15名、監事:2名

議 題 ア. 評議員選定委員の選任と評議員選定委員会の開催について
イ. 次期評議員候補者の推薦について

4. 評議員選定委員会

期 日 6月23日(金)

会 場 修養団会議室(16階)

出 席 者 選定委員4名、修養団2名

議 題 評議員の選任について

5. 後援会役員会

期 日 7月18日(火)

出 席 者 常任幹事:5名(弘中聡、高岡英則、平岡真一、笠原隆、新田一文)

監 事:1名(山根健嗣)

修 養 団:5名(御手洗康、山崎一紀、根岸秋吉、真下淳一、岩佐加寿子)

議 題 ア. 令和4年度後援会事業報告・収支決算及び監査報告について

イ. 令和5年度後援会事業計画(案)並びに収支予算(案)について

ウ. 令和4年度修養団主要事業報告及び令和5年度主要事業計画について

6. 慶弔

(1) 文部科学省令和5年度社会教育功労者表彰受賞

本団より根岸秋吉理事を推薦したところ受賞が決定し、表彰式が行われた。

開 催 日 2月9日(金) 10時30分～11時

会 場 文部科学省東館3階第1講堂

出 席 者 根岸秋吉

(2) 物故団員・同志ご芳名

福島県	高橋源右衛門	殿	7月20日	名誉団員、創立者蓮沼門三生家当主
福島県	平栗裕治	殿	11月1日	修養団愛汗郡山会長、みどり幼稚園園長
千葉県	辻明宏	殿	11月15日	修養団リーダー、新宿区役所職員
新潟県	齋藤勤	殿	12月1日	名誉団員、修養団新潟県連合会会長

(3) 物故同志慰霊の集い

7月13日(木)、SYDビル会員ルームにおいて、物故された恩人・先輩・永生会員・同志の慰霊祭を山崎主幹はじめ本部役職員により執り行った。

5. SYD将来計画プロジェクト「令和」

令和元年9月1日に職員4名で構成、スタート。10年後、20年後の社会を予測した上での今後のSYDの在り方(運動展開等)について具体的な事項も合わせて令和6年に提言を行うための準備をしている。

6. 講師研修会

〈別表-16〉

本団の教育理念および教育事業活動に関する研究・協議を行うとともに、講師相互の研鑽ならびに資質向上を図ることをねらいとしてオンライン(Zoom)研修会を実施した。

(1) Zoom 講師研修会

開催数 10回

(2) 対面研修会

期 日 11月22日(水)～24日(金) 2泊3日間
会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
参 加 者 特別講師2名、役職員9名
内 容 講師による研究発表並びに特別講師による講話他

7. その他

6月28日	在団理事会
7月3日	上期慰労手当支給(1.3か月分)
8月9日	理事長福島県下関係先訪問、桧原キャンプ視察(随行:根岸)
～10日	
10月19日	在団理事会開催
12月1日	下期慰労手当支給(1.7か月)
令和6年1月11日	在団理事会
2月26日	在団理事会

令和5年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和6年3月

公益財団法人 修養団

令和5年度 後援会活動報告

令和5年度の後援会活動は、7月18日に開催された役員会において決定された事業計画に基づき、募金目標額12,000,000円の達成をめざして7月下旬より活動を開始しました。コロナが感染症5類に移行したことにより、訪問活動を再開し、例年通り三菱グループ、三井グループ、住友グループ、日本製鉄、UBE、フジタ、キッコーマン、日立システムズ、北越コーポレーション、東芝、東京ビル整美等々法人会員98社、個人会員113名の方々の深いご理解と温かいご支援により、10,830,000円の会費収入を得る事ができました。

なお、会費収入のうち経費を除いた金額10,487,862円を後援会の助成対象事業である「青少年の健全育成」「家庭教育の推進」「社会教育指導者の育成」の3事業支援のために修養団へ繰り入れさせていただきました。

令和5年度の後援会の諸事業はようやくコロナ前のように、多くの事業を再開することができました。開催に当たっては引き続き参加者の安全を確保し、またオンライン講演会等も継続実施し、日本全国そしてまた海外からの参加もあり、今まで修養団を知らなかった方にも「愛と汗」の精神を広げることができました。

ここに謹んで後援会役員をはじめ全国の法人会員、個人会員の皆様の貴いご支援、ご協力に対し、心より感謝を申し上げます。

1. 会員移動状況

(1) 新入会員 〈法人会員 3団体〉

(東京都) 日立アステモ労働組合、日立アステモ組合連合会、(有)宮崎板金工業

(2) 逝去会員 〈個人会員 1名〉

(新潟県) 齋藤勤

2. 募金活動

(1) 募金目標・募金実績 (単位・円)

〈募金目標〉		〈募金実績〉	
法人会費	10,000,000円	法人会費	9,670,000円(98社)
個人会費	2,000,000円	個人会費	1,160,000円(113名)
合計	12,000,000円	合計	10,830,000円

(2) 募金方法

ア. 文書活動

7月18日に開催された後援会役員会で承諾された事業計画にもとづき、7月下旬より募金活動を開始。令和5年度会費納入のお願い書を法人、個人会員宛に発送した。

イ. 訪問活動

8月上旬に関東地区法人会員各社を訪問し、平素のご支援の御礼とご協力をお願いをした。

3. 広報活動

- (1) 修養団機関誌『向上』6月号に令和4年度の後援会会員名簿を掲載、協力の御礼と感謝の意を表すると共に令和5年度のお願いをした。
- (2) 『向上』(令和5年度5月号より1年間)及び令和6年版「日々の力」を法人、個人各会員に贈呈した。

4. 会 議

(1) 役員会

開催日 7月18(月)11時～13時

出席者 常任幹事：笠原隆、新田一文、平岡真一、弘中聡、松崎毅、柳井秀朗

監 事：山根健嗣

議 事 ア. 令和4年度後援会事業報告並びに収支報告及び監査報告について

イ. 令和5年度後援会事業計画(案)及び収支予算(案)について

ウ. 令和4年度修養団主要事業報告並びに令和5年度修養団主要事業計画について

5. 収支報告 (4月1日～令和6年3月31日)

(単位：円)

貸方(支出)	科目	借方(収入)	前年度(収入)
	会費収入(法人)	9,670,000(98社)	9,550,000(96社)
	〃(個人)	1,160,000(113名)	1,350,000(130名)
10,487,862	修養団後援金		
13,933	旅 費		
6,050	印 刷 費		
71,274	通 信 運 搬 費		
187,600	消 耗 品 費		
40,836	会 議 費		
22,445	雑 費		
10,830,000	合 計	10,830,000	10,900,000